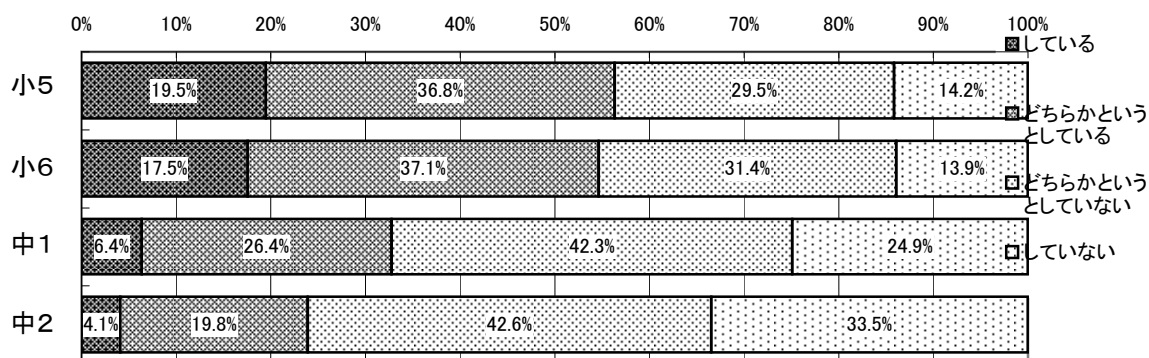


10 ふだんから、計画を立てて家庭での勉強をしていますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
① している	19.5%	17.5%	6.4%	4.1%
② どちらかというとしている	36.8%	37.1%	26.4%	19.8%
③ どちらかというとしていない	29.5%	31.4%	42.3%	42.6%
④ していない	14.2%	13.9%	24.9%	33.5%



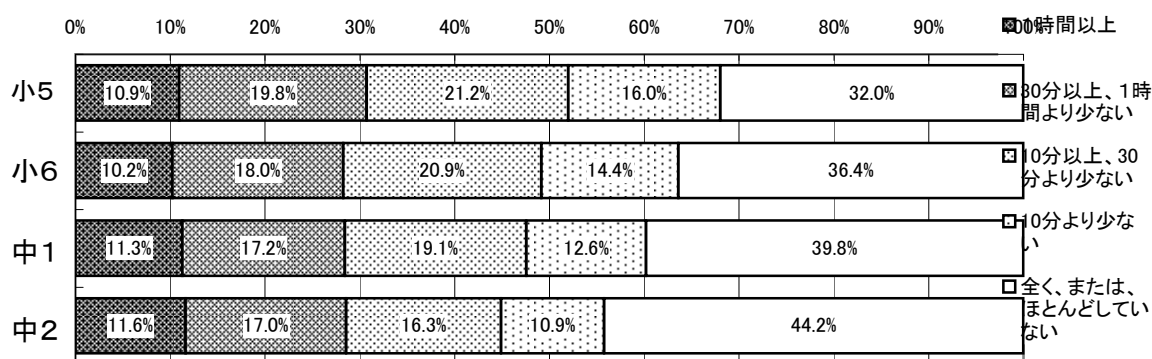
◇5割程度の児童、2～3割程度の生徒が計画的な学習をしている。

「している」「どちらかというとしている」を含むと、児童(小5・小6)の5割強は計画を立てて学習をしているが、生徒(中1・中2)は3割程度となり、学年が進むにつれて減少している。また、「計画を立てて学習していない」と答える児童が1割強、生徒が3割程度いる。しかし、昨年度に比べて、中学校では「計画を立てて学習していない」と答える生徒が、2～3%程度減少している。この結果は、自己の目標やめあてを設定させて、勉強する内容を明確にして学習するよう指導してきた成果であり、その勉強を自己評価できるように努めてきたものによると考えられる。今後も、自己評価による学習の改善を継続して行っていくことが大切である。

また、計画的な学習ができている割合は、中学生になると低くなっている現状を踏まえ、中学校においては、生徒たちが計画的に学習を行えるよう、学校全体として、適切な家庭学習の在り方を工夫していくとともに、生徒一人一人に応じてきめ細かな指導を充実させていく必要がある。

11 家で、1日にだいたいどのくらい読書を読みますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
① 1時間以上	10.9%	10.2%	11.3%	11.6%
② 30分以上、1時間より少ない	19.8%	18.0%	17.2%	17.0%
③ 10分以上、30分より少ない	21.2%	20.9%	19.1%	16.3%
④ 10分より少ない	16.0%	14.4%	12.6%	10.9%
⑤ 全く、または、ほとんどしていない	32.0%	36.4%	39.8%	44.2%



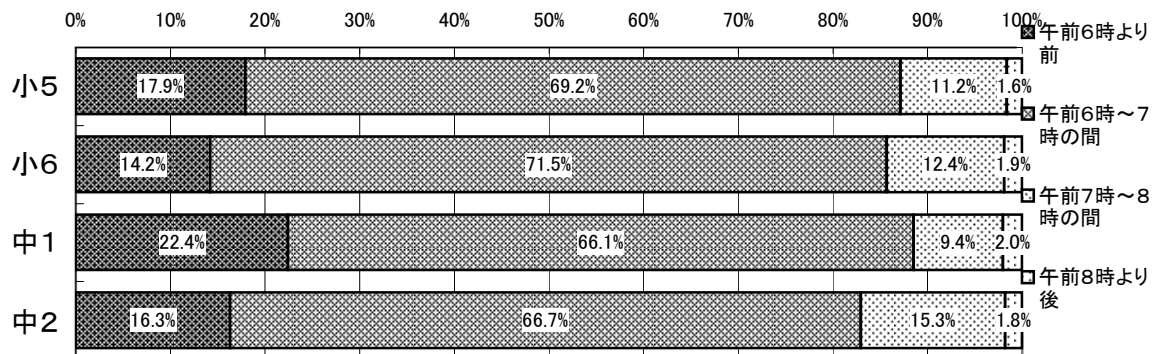
◇3割程度の児童生徒は「1日30分以上」の読書をしている。

「1時間以上」は、全ての学年で1割程度、3割程度の児童(小5・小6)、生徒(中1・中2)が「1日30分以上」の読書をしている。しかし、昨年度に比べて、「1日30分以上」の読書をしている児童は減少傾向、生徒は増加傾向である。また、「全くまたは、ほとんどしていない」は児童で3割を上回り、生徒で4割程度である。これは、昨年度に比べて、どの学年も増加している。

今後は、各学校が取り組んでいる全校一斉の読書活動の質の向上を図り、例えば、発達段階や学年段階に応じた良書に親しむことができるように計画的・意図的な指導を工夫し、読書に対する意欲を高めることが必要である。また、教科や総合的な学習の時間における学校図書館の活用の充実に努めるとともに、より質の高い読書ができるよう、家庭や地域との連携を図った啓発活動を行うなど、読書環境の充実が必要である。

12 平日は何時に起きていますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
① 午前6時より前	17.9%	14.2%	22.4%	16.3%
② 午前6時～7時の間	69.2%	71.5%	66.1%	66.7%
③ 午前7時～8時の間	11.2%	12.4%	9.4%	15.3%
④ 午前8時より後	1.6%	1.9%	2.0%	1.8%



◇8割を上回る児童生徒が、午前7時前に起きている。

(H18新設)

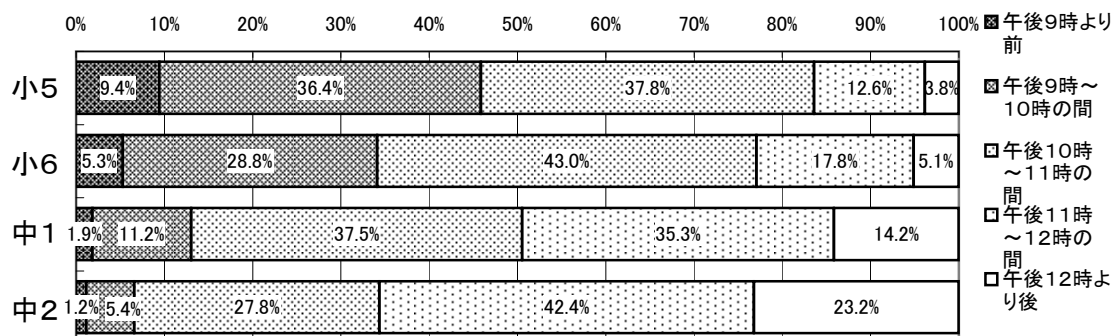
学年によって差は見られるが、午前6時より前に起きている児童生徒が、2割程度いる。また、午前7時より前に起きている児童生徒(午前6時より前に起きている児童生徒も含む)は、8割を上回っている。一方、午前8時より後に起きる児童生徒は、どの学年においても、全体の2%程度いる。

今後は、より一層保護者との連携を図り、必要に応じて、その家庭全体の生活リズムを見つめ直すよう働きかけることも大切である。

また、午前8時以降に起床するなど基本的生活習慣に乱れがみられる児童生徒については、保護者との連絡を密にし、個に応じた指導を行う必要がある。

13 平日は何時に寝ていますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
① 午後9時より前	9.4%	5.3%	1.9%	1.2%
② 午後9時～10時の間	36.4%	28.8%	11.2%	5.4%
③ 午後10時～11時の間	37.8%	43.0%	37.5%	27.8%
④ 午後11時～12時の間	12.6%	17.8%	35.3%	42.4%
⑤ 午後12時より後	3.8%	5.1%	14.2%	23.2%



◇2割程度の児童、5割以上の生徒が午後11時以降に就寝している。

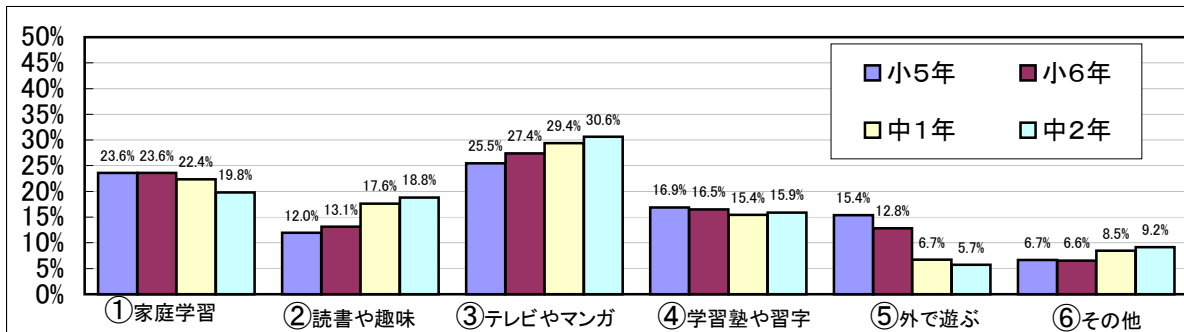
(H18新設)

小5では、5割程度の児童が午後10時までに就寝するが、小6になると3割程度に減少している。中学生になると就寝時刻が急激に遅くなり、午後11時以降に就寝する生徒は、中1では5割程度であり、中2で7割を上回る。特に、午後12時以降に就寝する児童が小6では5%程度おり、その後急増し、中2になると4人に1人が12時以降まで起きている。

午後10時以降に就寝する就学前の幼児が29%いる(平成17年 民間における全国調査の結果)状況を踏まえ、今後は、小学校低学年から、望ましい基本的生活習慣づくりについて、「心身の発達にとり、望ましい起床・就寝時刻、睡眠時間」などの面から具体的に考えさせるよう指導することが必要である。また、就寝時刻が遅かったり、不規則であったりするような様子がみられる児童生徒については、保護者との連携を図り、家庭が児童生徒の生活をしっかりと支えることができるよう指導する必要がある。

14(1) 平日に家に帰ってから何をしていますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
① 家庭学習	23.6%	23.6%	22.4%	19.8%
② 読書や趣味	12.0%	13.1%	17.6%	18.8%
③ テレビやマンガを見たり、ゲームをしたりする	25.5%	27.4%	29.4%	30.6%
④ 学習塾や習字、音楽、スポーツなどの習い事	16.9%	16.5%	15.4%	15.9%
⑤ 外で遊ぶ	15.4%	12.8%	6.7%	5.7%
⑥ その他	6.7%	6.6%	8.5%	9.2%



◇3割の児童生徒が、平日に家に帰ってからテレビやマンガを見たり、ゲームをしたりしている。

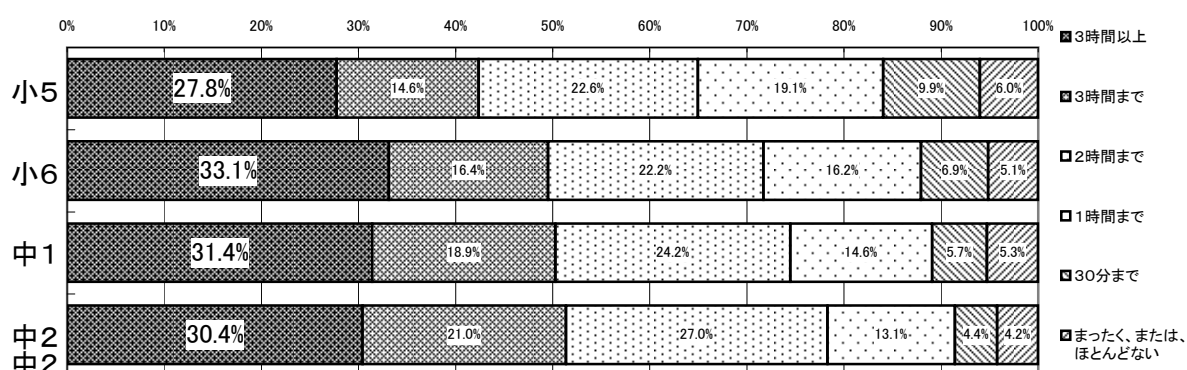
(H18新設)

児童生徒が、平日に家に帰ってから行うことで、最も多いのがテレビやマンガを見たり、ゲームをしたりすることであり、どの学年も3割程度である。また、この割合は学年が進むにつれて増加している。次に多いのが、家庭学習であり、どの学年においても、2割程度の児童生徒が選択している。また、趣味や読書は学年が進むにつれて増加しているが、家庭学習や外で遊ぶことは学年が進むにつれて減少している。

今後は、学年の発達段階や地域の状況を踏まえ、屋外で遊ぶことについて考えさせたり、地域の行事などに参加するよう助言したり、読書等にあてる時間を増やしたりするなど、家庭において、一層充実した生活がられるよう働きかける必要がある。

14(2) 平日に家でテレビを見たり、コンピュータゲームやパソコンなどを使って遊んだりする時間はどのくらいですか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
① 3時間以上	27.8%	33.1%	31.4%	30.4%
② 3時間まで	14.6%	16.4%	18.9%	21.0%
③ 2時間まで	22.6%	22.2%	24.2%	27.0%
④ 1時間まで	19.1%	16.2%	14.6%	13.1%
⑤ 30分まで	9.9%	6.9%	5.7%	4.4%
⑥ まったく、または、ほとんどない	6.0%	5.1%	5.3%	4.2%



◇3割の児童生徒が、平日に3時間以上、テレビを見たり、ゲームなどを使って遊んだりしている。

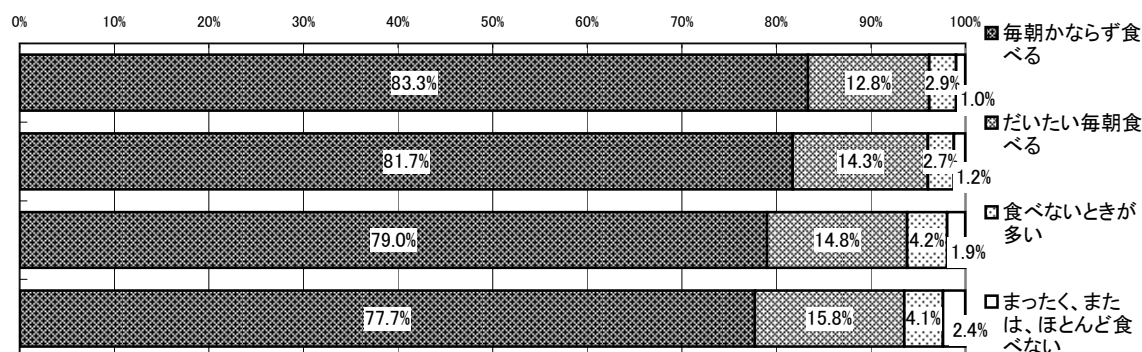
(H18新設)

平日に3時間以上、テレビを見たり、ゲームなどを使って遊んでいる児童生徒は3割程度である。2時間以上(3時間以上の児童生徒も含む)になると小5で4割程度、小6以上の学年になると5割程度である。「1時間まで」は、小5では3割であるが、学年が進むにつれて、減少している。「まったく、または、ほとんどしない」児童生徒は、どの学年でも全体の5%程度である。

今後は、1日の生活の中で、テレビを見たり、ゲームなどで遊んだりする時間として、どの程度の時間が望ましいのかを自分で考えさせるなど、計画的に生活することを指導し、自分で自分の生活を律していく力を高め、指導が必要である。また、コンピュータ、特にインターネットの利用などについて、望ましい活用の仕方を指導していく必要がある。

15 毎朝、朝ごはんを食べていますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
① 毎朝かならず食べる	83.3%	81.7%	79.0%	77.7%
② だいたい毎朝食べる	12.8%	14.3%	14.8%	15.8%
③ 食べないときが多い	2.9%	2.7%	4.2%	4.1%
④ まったく、または、ほとんど食べない	1.0%	1.2%	1.9%	2.4%



◇9割以上の児童生徒が、朝食をとっている。

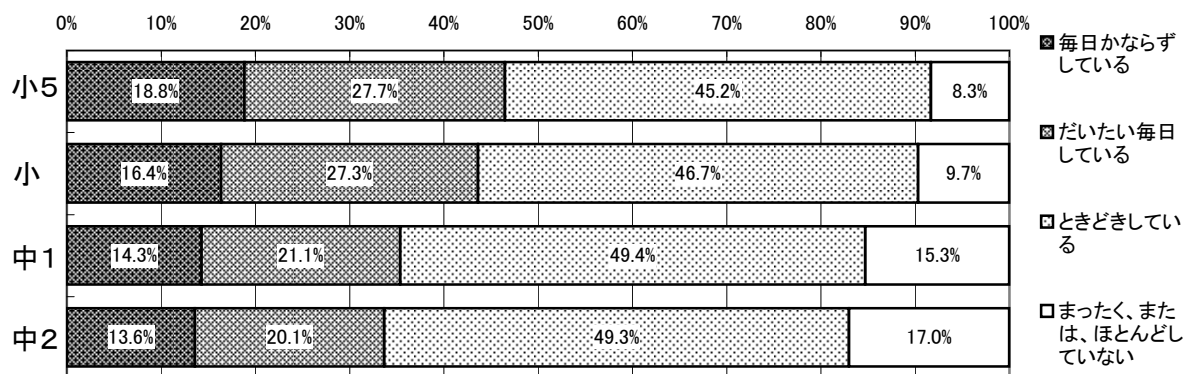
(H18新設)

「毎朝かならず食べる」「だいたい毎朝食べる」児童生徒の割合は、どの学年においても9割を上回っている。特に、「毎朝かならず食べる」児童生徒の割合は、8割程度である。一方、「食べないときが多い」「まったく、または、ほとんど食べない」児童生徒の割合は全体の4～6%程度おり、学年が進むにつれて、その割合は増加している。

今後は、こうした「食べない」児童生徒をなくすよう、家庭との連携を図り、朝食の必要性や家庭での食生活について指導する。また、栄養バランスのとれた朝食の内容という点に着目し、望ましい食生活についても考えていけるようにする。

16 家で、どのくらいお手伝いをしていますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
① 毎日かならずしている	18.8%	16.4%	14.3%	13.6%
② だいたい毎日している	27.7%	27.3%	21.1%	20.1%
③ ときどきしている	45.2%	46.7%	49.4%	49.3%
④ まったく、または、ほとんどしていない	8.3%	9.7%	15.3%	17.0%



◇4割以上の児童、3割以上の生徒が、家で、毎日お手伝いをしている。

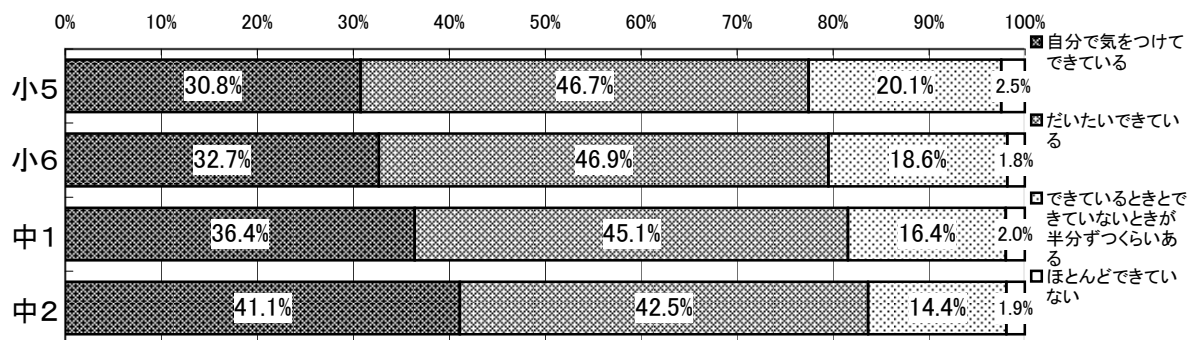
(H18新設)

家でのお手伝いを「毎日かならずしている」「だいたい毎日している」児童生徒の割合は、小学校では、4割を上回っており、中学校では3割を上回っている。一方、「まったく、または、ほとんどしていない」児童生徒の割合は、小学校では1割程度、中学校では1割を上回っている。

今後は、進んでお手伝いに取り組み、自己の有用感、存在感を感じることを味わうことができるよう、家庭での役割をもつことや、発達段階に応じたお手伝いの在り方について考えさせることが必要である。また、「お手伝いをする子どもは道徳観・正義感が身に付いている傾向が見られる」という調査結果(H10子どもの体験活動等に関するアンケート調査結果)を踏まえ、家庭においても、お手伝いなどによって責任を果たすことの大切さを考えさせたり、お手伝いを通じて子どもとのコミュニケーションを深めたりできるよう働きかける。

17 明日の学校の準備をすることや、好き・きらいを言わないで食べること、
歯みがきや手あらいなどをするについて、自分のことは自分で気をつけて
できていますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
① 自分で気をつけてできている	30.8%	32.7%	36.4%	41.1%
② だいたいできている	46.7%	46.9%	45.1%	42.5%
③ できているときとできていないときが半分ずつくらいある	20.1%	18.6%	16.4%	14.4%
④ ほとんどできていない	2.5%	1.8%	2.0%	1.9%



◇8割程度の児童生徒が、自分のことは自分で気をつけてできているとらえている。

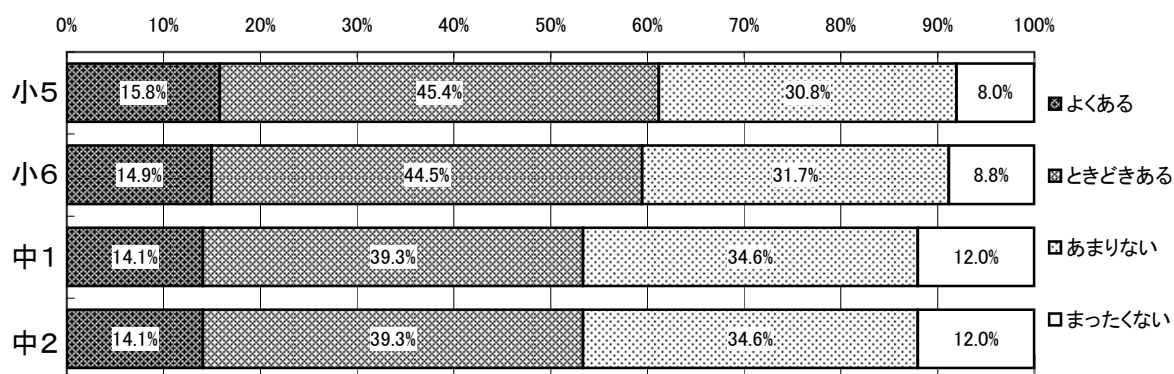
(H18新設)

「自分で気をつけてできている」と答えた児童生徒の割合は、小学校では3割程度、中学校では4割程度である。また、「だいたいできている」を含めると、児童生徒の8割程度が自分のことは自分でできているとらえている。学年が進むにつれて、これらの割合が増加している。

今後は、「よりできるようにしていこう」「できることをさらに増やしていこう」といった意欲をもてるよう指導することが大切である。また、「ほとんどできていない」児童生徒についても、「少しでもできるようになったこと」を認め、自らの生活を律する意欲をもたせていくことが必要である。

18 明日の学校の準備をすることや、好き・きらいを言わないで食べること、
歯みがきや手あらいなどをするについて、家の人から気をつけるよう、
声をかけられたり、注意されたりすることがありますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
① よくある	15.8%	14.9%	14.1%	14.1%
② ときどきある	45.4%	44.5%	39.3%	39.3%
③ あまりない	30.8%	31.7%	34.6%	34.6%
④ まったくない	8.0%	8.8%	12.0%	12.0%



◇6割程度の児童、5割程度の生徒が、自分のことは自分でできるよう声をかけられたり、注意されたりしている。

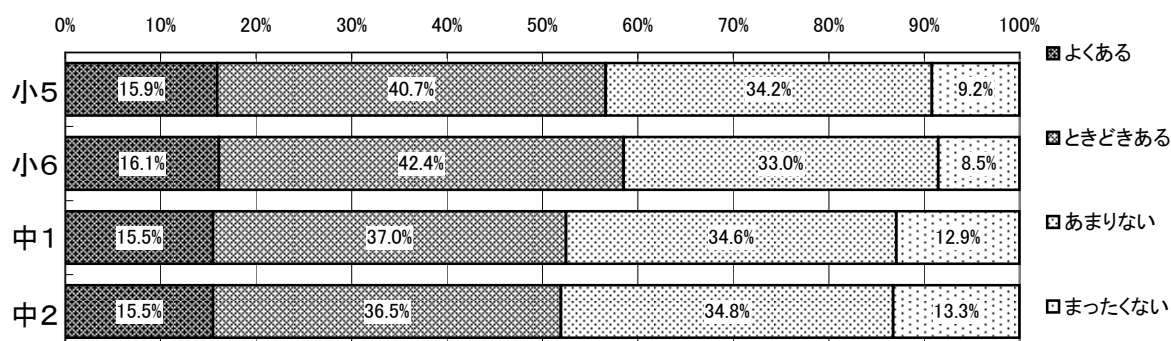
(H18新設)

どの学年においても「よくある」と答えた児童生徒の割合が、1割を上回っている。また、「ときどきある」を含めると、児童の6割程度、生徒の5割程度が、家の人から声をかけられたり、注意されたりしている。学年が進むにつれて、これらの割合が減少している。これは、学年が進むにつれて、自分でできるようになったり、保護者が基本的な生活習慣については声をかける必要がないと判断しているからであると考えられる。

今後も、こうした生活習慣が確実に身に付くよう小学校の低学年から指導するとともに、「自分のことは自分でできるようになった」成長を認め、励まして、自主的に取り組んでいくことができるようにする必要がある。

19 あいさつやお礼を言うこと、きちんとした言葉づかいに気をつけることや服そうを整えること、約束を守ることなどについて、家の人から気をつけるよう、声をかけられり、注意されたりすることがありますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
① よくある	15.9%	16.1%	15.5%	15.5%
② ときどきある	40.7%	42.4%	37.0%	36.5%
③ あまりない	34.2%	33.0%	34.6%	34.8%
④ まったくない	9.2%	8.5%	12.9%	13.3%

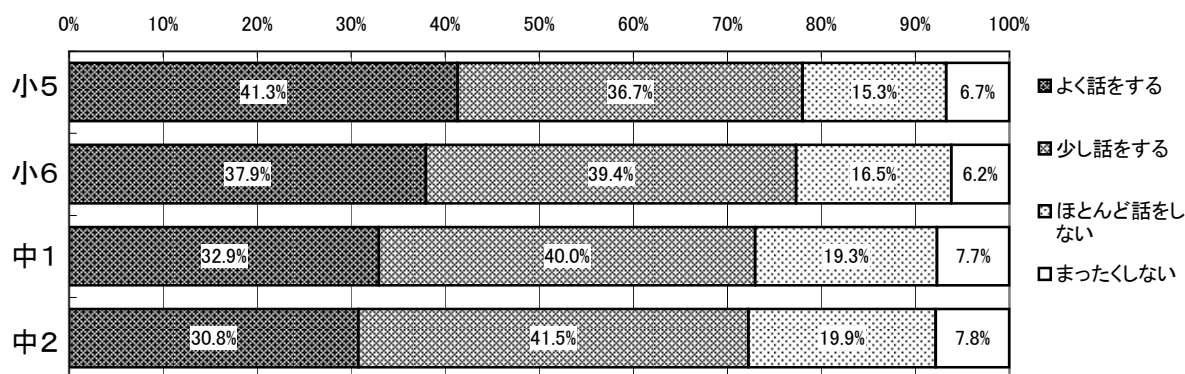


◇5割以上の児童生徒が、「あいさつやお礼」「言葉づかいや服装」「約束を守ること」について家の人から言われている。(H18新設)

どの学年においても「よくある」と答えた児童生徒の割合が、1割を上回っている。また、「ときどきある」を含めると、5割以上が家の人から気をつけるよう、声をかけられり、注意されたりしている。中学生になると、これらの割合が減少している。
社会生活を営む上での、マナーやモラルが身に付くよう、学校において継続して指導するとともに、家庭においても「望ましい姿」について話し合い、考えていこう働きかけていくことが必要である。

20 家の人と趣味や遊びのこと、進路や将来の仕事や生活、学校でのできごとや友だちのことなどについて、一緒に話をすることはありますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
① よく話をする	41.3%	37.9%	32.9%	30.8%
② 少し話をする	36.7%	39.4%	40.0%	41.5%
③ ほとんど話をしない	15.3%	16.5%	19.3%	19.9%
④ まったくしない	6.7%	6.2%	7.7%	7.8%



◇4割程度の児童、3割程度の生徒が、家の人とよく話をしている。(H18新設)

家の人と「よく話をする」と答えた児童は、小5では4割を上回るが、小6では4割を下回り、中1、中2と学年が進むにつれて、割合が減少する。「少し話をする」を含めた割合は、小学校では8割程度、中学校では7割を上回る。「ほとんど話をしない」と答えた割合は学年が進むにつれて増加し、中学生では2割程度である。また、どの学年にも「まったく話をしない」児童生徒が1割未満いる。

今後も、学校のことや友だちのことだけでなく、趣味や進路など、様々な面から、家庭において話し合い、子どもの考えや状況を保護者が把握し、理解を深めていこう働きかけることが必要である。また家庭においては、話し合いを通して、保護者の思いや考えなどを伝え、互いの理解を深めるよう働きかける必要がある。